

MD プレーヤー

目次 4ページ

取扱説明書

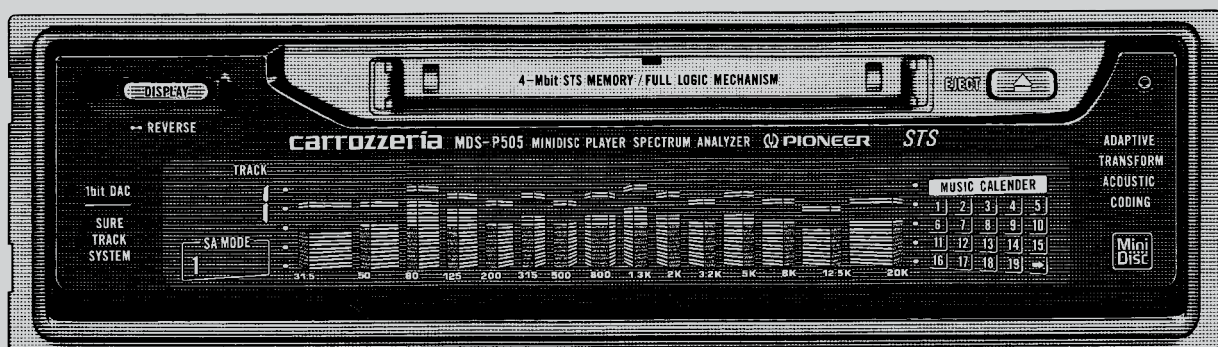
お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。なお、この取扱説明書は、保証書と一緒に必ず保管してください。

接続と取り付けは、別冊の取付説明書をご覧ください。



carrozeria
by PIONEER

MDS-P505



安全のために必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意(警告を含む)しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止(やってはいけないこと)の内容です。



必ず行う

このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

安全上のご注意 (別冊の「安全上のご注意」もお読みください。)

警告

[異常時の処置]

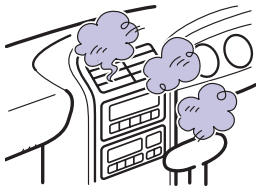
故障のまま使用しない



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



禁止

万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



必ず行う

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

目次

はじめに

本機と組み合わせる	6
メインユニットについて	13
本機の各部のなまえ	

準備

MDをセットする	14
----------	----

MDを聞く

MDのふだんの操作	16
ソースを切り換える	
曲を選ぶ	
早送り/早戻しをする	
表示を切り換える	18
モードの切り換えかた	20
同じ曲を繰り返し聞く	21
いつもと違う曲順で聞く	22
聞きたい曲をさがす	23
MD再生を一時停止する	24
よく使う機能を学習させる	25

C O N T E N T S

すぐ使えます
ここだけ読めば

すぐに使いたいときは、
ここをお読みください。

その他の機能と付録

本機の表示を切り換える	26
夜間のディスプレイの明るさを切り換える	28
旧モデルの メインユニットの機能について	29
MDの正しい使いかた	30
こんなメッセージが表示されたら	31
故障かな?と思ったら	32
本機のリセットについて	33
保証書とアフターサービス 仕様	34 35

はじめに

準備

MDを聞く

その他の機能と付録

本機と組み合わせるメインユニットについて

本機は、別売のメインユニットと組み合わせて使用します。
MDの操作は、本機と組み合わせたメインユニット側で行います。

① 本機をMDソースとしてコントロールするメインユニット

メインユニット ① DEH-P505

② DEH-P707/DEX-P1/DEH-P700/DEH-P900/KEH-P303/
KEH-P600/KEH-P400/FH-P606/FH-P404/FH-P700

本書では、メインユニットとして「DEH-P505」の例で操作説明を行っています。
「DEH-P505」と組み合わせた場合は、14ページからの説明に従って操作を行ってください。

メインユニット②と組み合わせた場合は、「メインユニットのボタン名称」(☞ 次ページ)を参照して「DEH-P505」と対応しているボタンで操作を行ってください。

② 本機をエクスターナルユニット (EXT) としてコントロールするメインユニット

メインユニット ③ DEH-P500/KEH-P300

メインユニット③と組み合わせた場合は、機能対応表 [1] (☞ 8ページ)を参照して操作を行ってください。

③ 旧モデルのメインユニット

[本機をエクスターナルユニット (EXT) としてコントロールします。]

メインユニット ④ DEH-P990/DEH-P660/DEH-P550/DEX-P9/
KEH-P880/KEH-P770/KEH-P440/KEH-P330

⑤ FH-P80M

⑥ FH-P80

⑦ AVM-P100

⑧ AVIC-XA1

⑨ DEH-P99/DEX-P7/KEH-P88/KEH-P77

⑩ KEH-P55/KEH-P44

⑪ KEH-P33

メインユニット ④ ~ ⑦ と組み合わせた場合は、機能対応表 [2] (☞ 11ページ)を、
メインユニット ⑧ ~ ⑪ と組み合わせた場合は、機能対応表 [3] (☞ 12ページ)を
参照して操作を行ってください。

メモ

14ページからの操作説明に記載されているディスプレイ表示は「DEH-P505」の例です。それ以外のメインユニットと組み合わせた場合は、表示が異なる場合があります。

「DEH-P500」など、本機をエクスターナルユニット(EXT)としてコントロールするメインユニットは、エクスターナルユニットを2台以上コントロールすることができません。本機を接続したときは、ほかのエクスターナルユニットは接続しないでください。

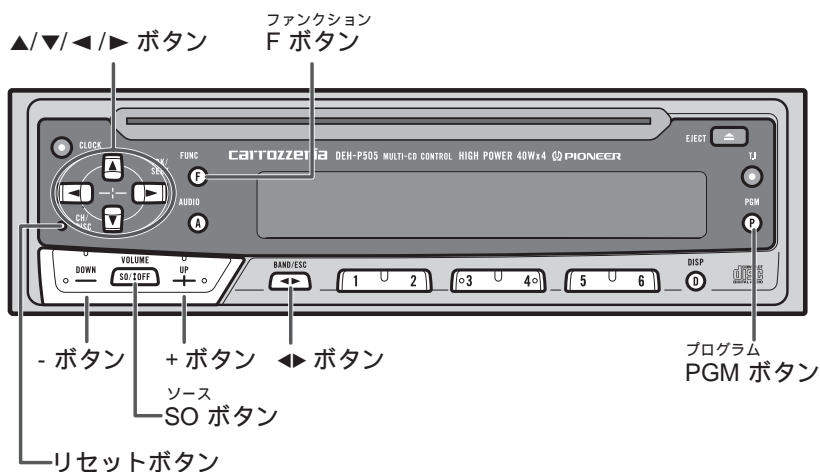
エクスターナルユニット (EXT) としてコントロールするユニットには、本機のほかに、DSPカセット「KDS-P500/KDS-P505」、マルチMD「MD-P100/MD-P100Ⅱ」、ボイスコントロールディスクセレクター「CD-VC50」などがあります。

「DEH-P900」と組み合わせた場合、プログラムブルファンクション (☞) はありません。

メインユニットのボタン名称

メインユニットのボタン名称

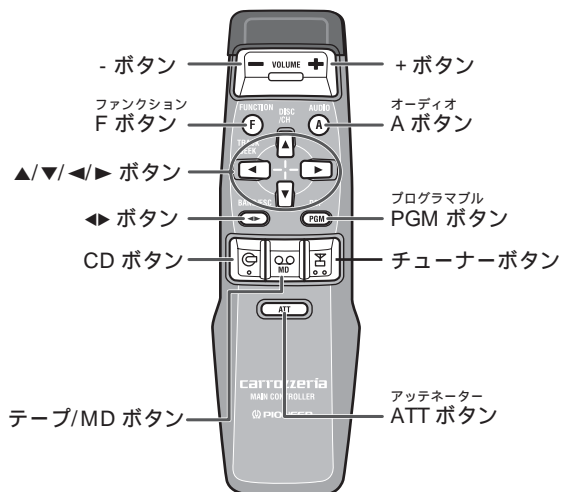
例：「DEH-P505」



メインコントローラーのボタン名称

例：「CD-R66」




DEH-P505/FH-P404は、別売のメインコントローラー「CD-R66」が使用できます。
DEH-P707/DEH-P700/FH-P606/KEH-P600にはメインコントローラーが付属しています。



本機と組み合わせるメインユニットについて (つづき)


メインユニット [3] DEH-P500/KEH-P300


機能対応表 [1]

機能名称		項目	DEH-P505	メインユニット [3]	
ソース切り換え	16	操作	本体	SO	SO
			メインコントローラー	 MD	— ¹
ファンクションモードの切り換え ²	20	操作	本体	F	F
			メインコントローラー	F	F
		動作	 REPEAT (リピート再生) RANDOM (ランダム再生) T-SCAN (スキャン再生) PAUSE (ポーズ)	 FUNC1 (表示切り換え) FUNC2 (ポーズ/ランダム再生) FUNC3 (スキャン再生) FUNC4 (リピート再生) AUTO (選曲モード切り換え)	
表示切り換え	18	操作	モード	—	FUNC1
			本体	D	▲ / ▼
			メインコントローラー	—	▲ / ▼
			モード	—	FUNC1
タイトルスクロール	19	操作	本体	D (2秒以上)	▲ / ▼ (2秒以上)
			メインコントローラー	—	▲ / ▼ (2秒以上)
ポーズ	24	操作	モード	PAUSE	FUNC2
			本体	▲ / ▼	▲ / ▼
			メインコントローラー	▲ / ▼	▲ / ▼
			モード	RANDOM	FUNC2
ランダム再生	22	操作	本体	▲ / ▼	▲ / ▼ (2秒以上)
			メインコントローラー	▲ / ▼	▲ / ▼ (2秒以上)

メモ

メインコントローラーで操作を行う場合は、別売のメインコントローラー「CD-R66」を使用します。

¹ 「DEH-P500」および「KEH-P300」は、本機をエクスターナルユニット (EXT) としてコントロールします。そのため、別売のメインコントローラー「CD-R66」の  ボタンでは、ソースをMDに切り換えられません。

² 「DEH-P500」および「KEH-P300」は、ファンクションモードに切り換えると、モード表示 (例「FUNC1」) が約2秒間点灯します。モード表示が消えた後は「」表示が点滅してファンクションモードになっていることを知らせます。

機能名称	項目	DEH-P505	メインユニット ³
スキャン再生	モード	T-SCAN	FUNC3
	操作	本体	▲ / ▼
		メインコン ローラー	▲ / ▼
リピート再生	モード	REPEAT	FUNC4
	操作	本体	▲ / ▼
		メインコン ローラー	▲ / ▼
選曲モード 切り換え	モード	—	AUTO/MANU
	操作	本体	◀ / ▶
		メインコン ローラー	—
動作	—	↑ AUTO (トラックサーチ) ↓ MANU (早送り / 早戻し)	
トラックサーチ	選曲モード	—	AUTO ³
	操作	本体	◀ / ▶ ³
		メインコン ローラー	◀ / ▶ ³
早送り / 早戻し	選曲モード	—	MANU ⁴
	操作	本体	◀ / ▶ (0.5秒以上) ⁴
		メインコン ローラー	◀ / ▶ (0.5秒以上) ⁴

▼
次ページへつづく

メモ

³ 選曲モードをAUTO (トラックサーチ) にし、ファンクションモードを解除してから◀または▶ボタンを押します。

⁴ 選曲モードをMANU (早送り/早戻し) にし、ファンクションモードを解除してから◀または▶ボタンを押します。

本機と組み合わせるメインユニットについて (つづき)

メインユニット ③ DEH-P500/KEH-P300

機能対応表 [1] (つづき)

機能名称		項目	DEH-P505	メインユニット ③	
プログラマブル ファンクション	25	①モード に入る	本体	F (2秒以上)	F (2秒以上)
			メインコント ローラー	F (2秒以上)	◀ / ▶
		②機能を 選ぶ	本体	◀ / ▶	F (2秒以上)
			メインコント ローラー	◀ / ▶	◀ / ▶
		動作	PAUSE (ポーズ) REPEAT (リピート再生) RANDOM (ランダム再生)	FUNC1 (表示切り換え) FUNC2 (ポーズ/ランダム再生) FUNC3 (スキャン再生) FUNC4 (リピート再生) A/M (選曲モード切り換え)	
			③学習 させる	本体	▲
		④操作 する	メインコント ローラー	▲	PGM
			本体	PGM	▲ ⁵
		メインコント ローラー	PGM	PGM ⁵	

メモ

メインコントローラーで操作を行う場合は、別売のメインコントローラー「CD-R66」を使用します。

⁵ PGM ボタンを押すごとに、記憶させた機能の ON/OFF または設定が切り換わります。FUNC1 および FUNC2 はボタンを押している時間によって機能が変わります。


時間	FUNC1	FUNC2
2秒未満	表示切り換え	ポーズ
2秒以上	タイトルスクロール	ランダム

メインユニット④ DEH-P990/DEH-P660/DEH-P550/
DEX-P9/KEH-P880/KEH-P770/
KEH-P440/KEH-P330

メインユニット⑥ FH-P80
メインユニット⑦ AVM-P100

メインユニット⑤ FH-P80M

機能対応表 [2]

機能名称		項目	メインユニット④	メインユニット⑤	メインユニット⑥	メインユニット⑦	
ソース切り換え	16	操作	本体	SO	OO	OO	AUDIO SOURCE
			メインコン ローラー	—	SRC	—	SO
表示切り換え	18	操作	本体	7	7	7	—
			メインコン ローラー	—	—	—	1 ¹
タイトルスクロール	19	操作	本体	7 (2秒以上)	7 (2秒以上)	7 (2秒以上)	—
			メインコン ローラー	—	—	—	1 (2秒以上) ¹
ポーズ	24	操作	本体	8	8	8	—
			メインコン ローラー	—	—	—	2 ¹
ランダム再生	22	操作	本体	8 (2秒以上)	8 (2秒以上)	8 (2秒以上)	—
			メインコン ローラー	—	—	—	2 (2秒以上) ¹
スキャン再生	23	操作	本体	9	9	9	—
			メインコン ローラー	—	—	—	4 ¹
リピート再生	21	操作	本体	10	10	10	—
			メインコン ローラー	—	—	—	5 ¹
選曲モード 切り換え	-	操作	本体	12 (2秒以上)	12 (2秒以上)	12 (2秒以上)	—
			メインコン ローラー	—	—	—	3 ¹
トラックサーチ	16	操作	本体	◀ / ▶	◀ / ▶	◀ / ▶	—
			メインコン ローラー	◀◀ / ▶▶ ²	◀◀ / ▶▶	◀◀ / ▶▶	◀◀ / ▶▶
早送り / 早戻し	16	操作	本体	◀ / ▶	◀ / ▶	◀ / ▶	—
			メインコン ローラー	—	—	—	◀◀ / ▶▶

メモ

¹ MENU ボタンを押して、ソースメニュー画面にしたときだけ働きます。

² 「DEH-P550」、「KEH-P330」では別売のメインコン
ントローラー「CD-R60」で操作します。

上記のメインユニット(旧モデル)にはファンクション
モードおよびプログラブルファンクションはあり
ません。

本機と組み合わせるメインユニットについて (つづき)

メインユニット⑧ AVIC-XA1

メインユニット⑩ KEH-P55/
KEH-P44

メインユニット⑨ DEH-P99/DEX-P7/
KEH-P88/KEH-P77

メインユニット⑪ KEH-P33

機能対応表 [3]

機能名称		項目	メインユニット⑧	メインユニット⑨	メインユニット⑩	メインユニット⑪	
ソース切り換え	16	操作	本体	AV SOURCE	SO	SOURCE	SOURCE
			メインコントローラー	—	—	—	—
表示切り換え	18	操作	本体	—	7	7	7
			メインコントローラー	CR	—	—	—
タイトルスクロール	19	操作	本体	—	7 (2秒以上)	7 (2秒以上)	7 (2秒以上)
			メインコントローラー	CR (2秒以上)	—	—	—
ポーズ	24	操作	本体	—	8	8	8
			メインコントローラー	A	—	—	—
ランダム再生	22	操作	本体	—	8 (2秒以上)	8 (2秒以上)	8 (2秒以上)
			メインコントローラー	A (2秒以上)	—	—	—
スキャン再生	23	操作	本体	—	9	9	9
			メインコントローラー	B	—	—	—
リピート再生	21	操作	本体	—	10	10	10
			メインコントローラー	C	—	—	—
選曲モード切り換え	-	操作	本体	— ¹	12 (2秒以上)	— ¹	— ¹
			メインコントローラー	— ¹	—	— ¹	— ¹
トラックサーチ	16	操作	本体	—	—	◀ / ▶	◀ / ▶
			メインコントローラー	◀◀ / ▶▶	◀◀ / ▶▶	◀◀ / ▶▶ ²	—
早送り / 早戻し	16	操作	本体	— ¹	—	— ¹	— ¹
			メインコントローラー	— ¹	◀◀ / ▶▶	— ¹	— ¹

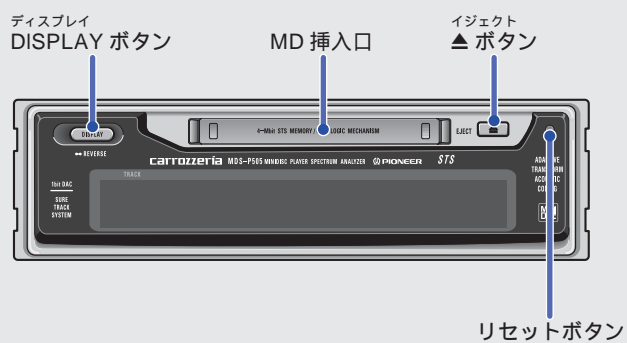
メモ

¹ 「AVIC-XA1」、「KEH-P55」、「KEH-P44」、「KEH-P33」では早送り/早戻しはできません。

² 「KEH-P44」では別売のメインコントローラー「CD-R60」で操作します。

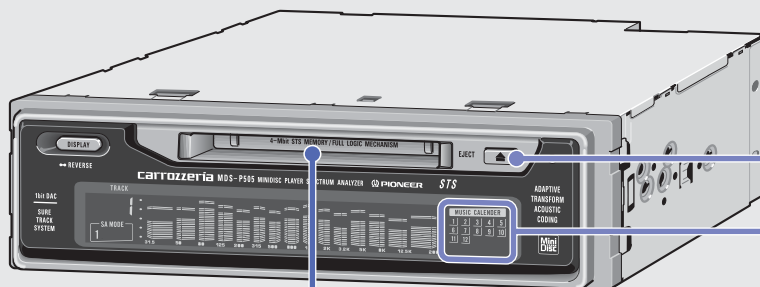
上記のメインユニット (旧モデル) にはファンクションモードおよびプログラマブルファンクションはありません。

本機の各部のなまえ



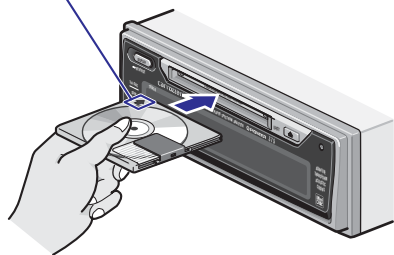
MD をセットする

まず最初に、本機にMDをセットしてください。



1 MDのラベル面を上にして、MD挿入口に差し込む

矢印の向きに差し込みます



MDのシャッターが閉まっていることを確認してから差し込んでください。

自動的にMDがセットされ再生を始めます。

本機のディスプレイ

再生中のMDの曲番号を表示します。



「DEH-P505」のディスプレイ



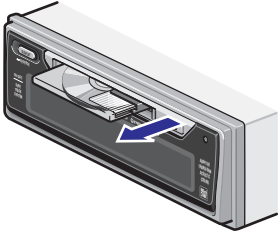
メモ

MDを挿入すると、本機はMDから曲数などの情報を読みとります。この間、メインユニットには“TOC READ”が表示されます。

MDを取り出すときは

▲ボタンを押す

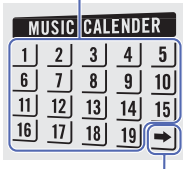
MDが出てきます。



ミュージックカレンダーについて

MDに録音されたトータルの曲数や再生中の曲番号を表示します。

1～19曲に対応



20曲以上あるときに表示されます

再生状態によって表示のしかたが右のように変わります。

ふだんの再生 (☞ 16 ページ) または
スキャン再生 (☞ 23 ページ) をすると...

再生中の曲番号が点滅します。

例：トータル曲数が12曲のMDの3曲目を再生中



リピート再生 (☞ 21 ページ) をすると...

リピート再生を指定した曲番号のみが点滅します。

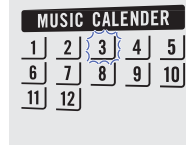
例：3曲目をリピート再生中



ランダム再生 (☞ 22 ページ) をすると...

トータル曲数までの曲番号がすべて点灯し、
再生中の曲番号が点滅します。

例：3曲目をランダム再生中



MD のふだんの操作

ソースを切り換える

ここだけの操作で、MDを聞くことができます。

チェック 最初に、本機にMDをセットしてください。(👉 14 ページ)

1 ソースを 1 枚型MDにする

メインユニット本体で操作するとき
SO ボタンを押す

メインコントローラーで操作するとき
テープ/MD ボタンを押す

ボタンを押すごとにソースが切り換わります。
1 枚型MDになるまでボタンを繰り返し
押してください。



MDの再生が始まります。

2 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻し)

◀または▶ ボタンを押す

▶ : 次の曲を選ぶとき (または早送り)

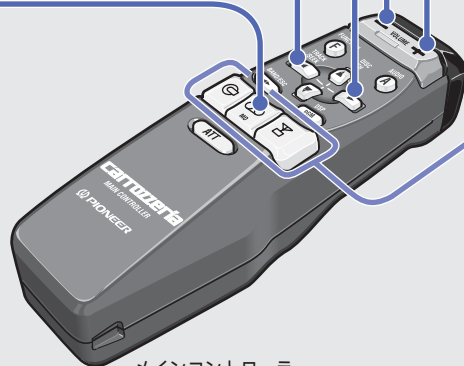
◀ : 前の曲を選ぶとき (または早戻し)



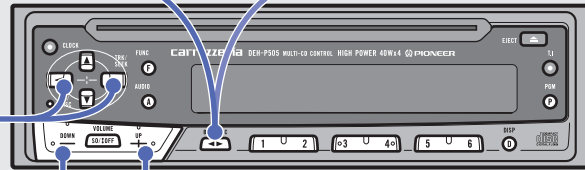
選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択 0.5秒以内

曲の早送り/早戻し 0.5秒以上押し続けている間



メインコントローラー



メインユニット
例:「DEH-P505」

3 音量を調節する

+ または - ボタンを押す

+ : 大きくするとき

- : 小さくするとき



0 ~ 30 の範囲で表示されます

約4秒間、音量が表示されます。

MD再生をやめるときは

メインユニット本体で操作するとき
SO ボタンを押す

ほかのソースに切り換えてください。

または、SO ボタンを1秒以上押す
電源がOFFになります。

メインコントローラーで操作するとき
CD、テープ/MDまたはチューナー
ボタンを押す

ほかのソースに切り換えるか、電源をOFF
にしてください。

メモ

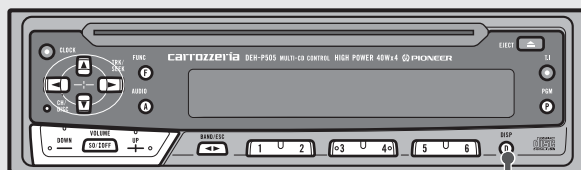
「DEH-P505」以外のメインユニットをお使いの場合は、「本機と組み合わせるメインユニットについて」(6 ~ 12 ページ) を参照して操作を行ってください。

「DEH-P500」など、本機をエクスターナルユニット (EXT) としてコントロールするメインユニット (6 ページ) をお使いの場合は、メインコントローラーのテープ/MD ボタンを押しても、ソースをMDに切り換えることができません。メインユニット本体の SOURCE ボタンで切り換えてください。

録音・編集を繰り返し行ったMDを再生中に、曲の早送り/早戻しを行うと、音がとぎれることがあります。

表示を切り換える

MD再生中には、「曲番号」「再生経過時間」「ディスク名」「曲名」を表示することができます。それぞれの表示は、簡単に切り換えることができます。



Dボタン

表示を切り換える

Dボタンを押す

ボタンを押すごとに、表示が切り換わります。

再生経過時間表示



ディスク名表示



曲名表示



隠れているタイトルを表示する

ディスク名や曲名は、ディスプレイに10文字 までしか表示されませんが、隠れている文字を順番に表示させることができます。

隠れているタイトルを表示する

D ボタンを2 秒以上押す



隠れている文字が順番に表示されていきます。

メモ

組み合わせるメインユニットによっては8文字までしか表示できない場合があります。

再生経過時間表示は、リピート、ランダム、スキャン再生を行うと、それぞれのON/OFFの状態を示す表示に変わります。

ディスク名や曲名がカナで入力されている場合は、ローマ字で表示され、名前の最初と最後に“^”または“-”が入ります。(名前の途中にも“^”または“-”が入る場合があります。)

ディスク名や曲名がアルファベットの小文字で入力されている場合は、大文字で表示されます。

「FH-P700」など、カナ文字に対応しているメインユニットをお使いの場合は、カナや小文字がそのまま表示されます。

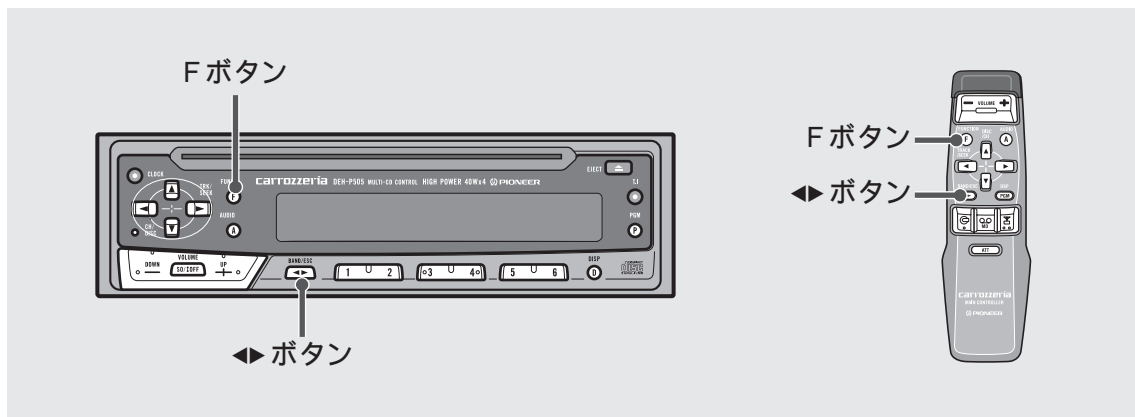
ディスク名がMDに記録されていない場合は、ディスク名表示が“NO D-DATA”になります。曲名がMDに記録されていない場合は、曲名表示が“NO TR-DATA”になります。

「DEH-P500」など、本機をエクスターナルユニット(EXT)としてコントロールするメインユニット(6ページ)をお使いの場合は、次のように表示が切り換わります。

曲番号 (TR 1) 再生経過時間 ディスク名
曲名 曲番号 …

モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。



ファンクションモードの切り換え

ファンクション モードを切り換える

F ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

リピートモード (☞ 次ページ)

ランダムモード (☞ 22ページ)

スキャンモード (☞ 23ページ)

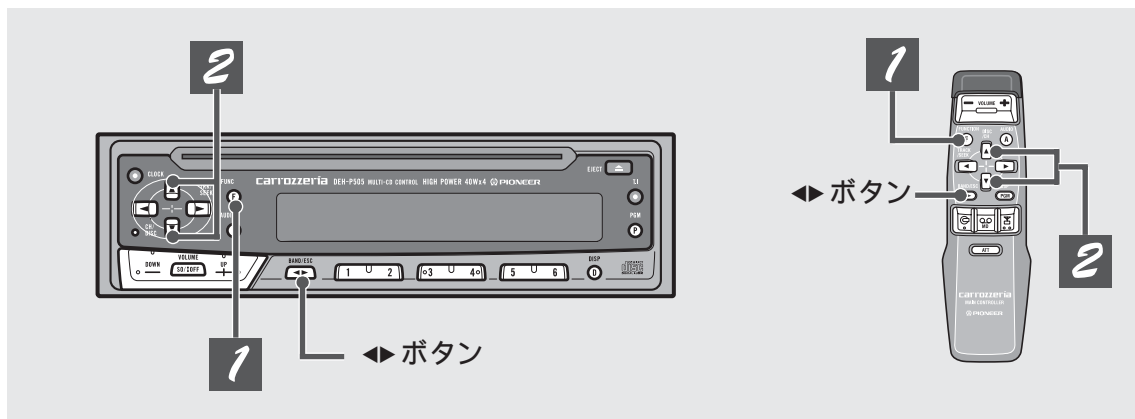
ポーズモード (☞ 24ページ)

ファンクションモードを解除するには、◀ ボタンを押します。(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

同じ曲を繰り返し聞き聞く

リピート再生

今聞いている曲を繰り返し聞き聞かことができます。



1 リピートモードにする (☞ 前ページ)



2 リピート再生をONにする

▲ ボタンを押す (▼ボタンでOFF)



今聞いている曲を繰り返し再生します。

◀ ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

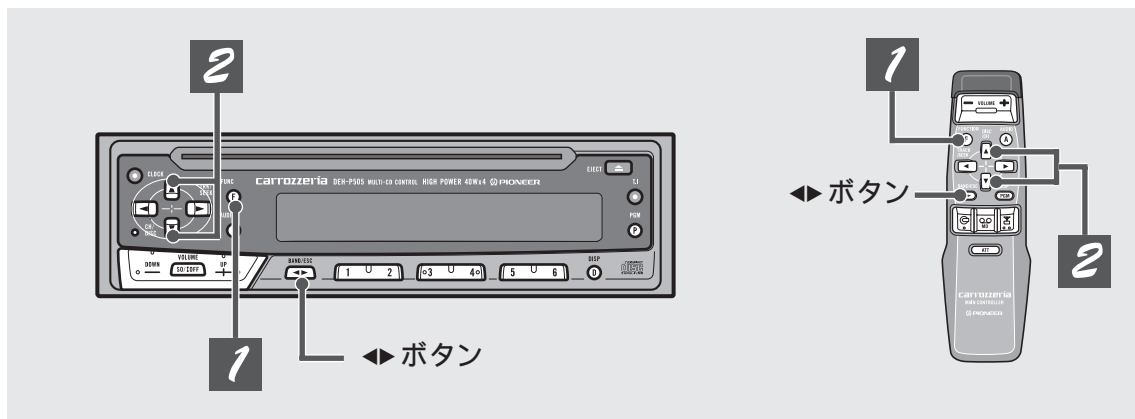


リピート再生中に表示されます。

いつもと違う曲順で聞く

ランダム再生

選曲をMDプレーヤーにまかせて、いつもと違う曲順(ランダム)で再生することができます。



1 ランダムモードにする (☞ 20ページ)



2 ランダム再生をONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



次の曲から、ランダムに選曲します。

◀ ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

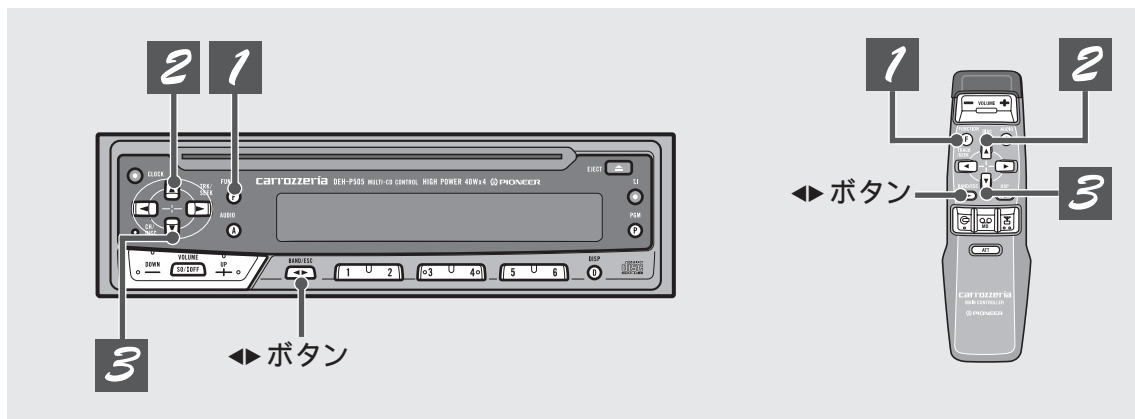


ランダム再生中に表示されます。

聞きたい曲をさがす

スキャン再生

曲の始めの部分だけを、約10秒間ずつ次々に聞くことができます。



1 スキャンモードにする (👉 20ページ)



2 スキャン再生を始める

▲ ボタンを押す



曲の始めの10秒間が次々に再生されます。

スキャン再生を始めて約30秒たつと、自動的にファンクションモードが解除されます。



スキャン再生中に表示されます。

3 聞きたい曲が再生されたらスキャン再生を解除する

ファンクションモードが解除されていたら、手順1の操作を行ってもう一度スキャンモードにしてから、スキャン再生を解除してください。

スキャンモードのとき▼ボタンを押す



◀ ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

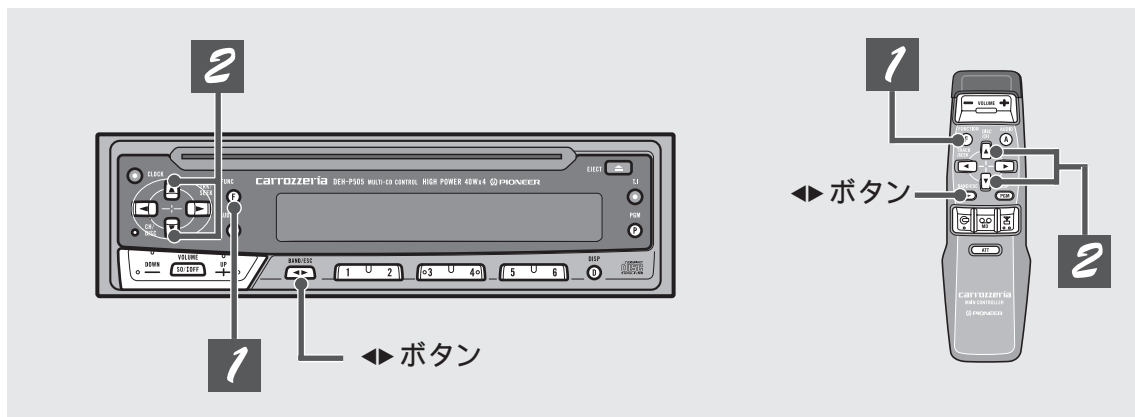
メモ

スキャン再生を始めた曲まで戻ると、スキャン再生は解除されます。

MD 再生を一時停止する

ポーズ

MD再生を一時停止することができます。



1 ポーズモードにする (☞ 20ページ)



2 MD再生を一時停止する

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで再生)



◀ ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

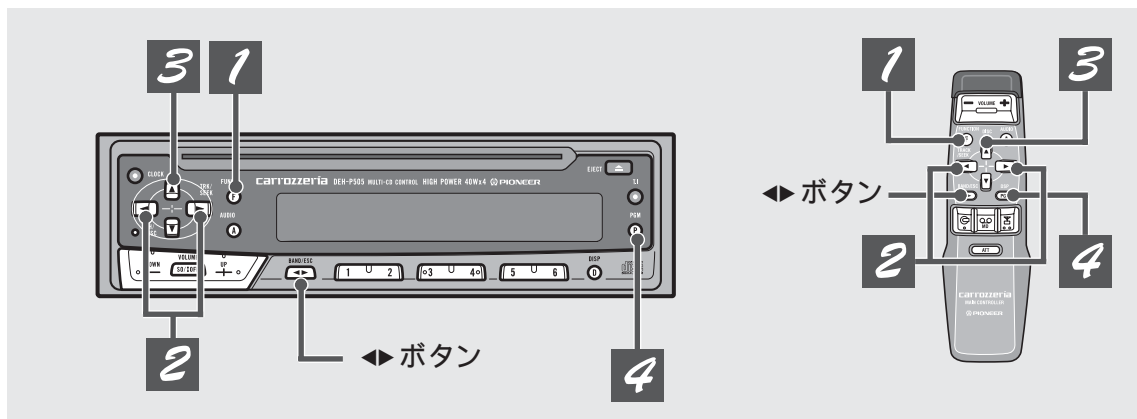


一時停止中に表示されます。

よく使う機能を学習させる

プログラブルファンクション

よく使う機能をPGMボタンに学習させることができます。学習させた機能は、モードに切り換えなくても操作できるようになります。(初期設定では、ポーズが学習されています。)
なお、この機能は「DEH-P900」にはありません。



1 プログラブルファンクション設定モードにする

F ボタンを2秒以上押す



約2秒間表示されます。

3 選んだ機能を学習させる

▲ ボタンを押す



点滅が止まり、学習されたことを知らせます。

◀ ボタンを押して、プログラブルファンクション設定モードを解除してください。

2 学習させたい機能を選ぶ

◀ または ▶ ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



4 学習させた機能を実行する

PGM ボタンを押す

ボタンを押すごとに、記憶させた機能のON/OFFが切り換わります。

本機の表示を切り換える

本機の表示には、「ピークバウンド」「シンメトリー」「ピークレベル」「ラディエーション」「ワインディングロード」の5つの表示があります。それぞれの表示は、簡単に切り換えることができます。

ディスプレイ
DISPLAY ボタン

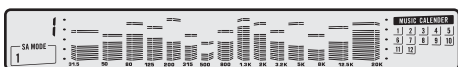


1 表示を切り換える

DISPLAY ボタンを押す

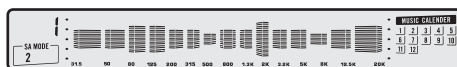
① ピークバウンド表示

各周波数の音の強さを高さであらわし、最高値を一時的に保持する表示をします。



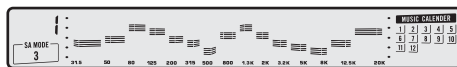
② シンメトリー表示

各周波数の音の強さを幅で表示します。



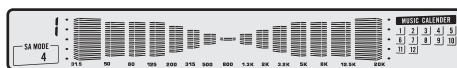
③ ピークレベル表示

各周波数のピークレベルを表示します。



④ ラディエーション表示

音の強さを放射線状に表示します。



⑤ ワインディングロード表示

ワインディングロードを走行しているようなイメージの表示をします。125 Hzの音の強さにより、速さが変化します



反転表示について

本機のスぺアナ表示は反転させることができます。

DISPLAY ボタンを 2 秒以上押す

反転表示 (例：ピークバウンドの反転表示)

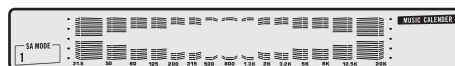


もう一度同じ操作を行うと通常の表示に戻ります。

デモンストレーション表示について

本機の電源が ON 状態のとき、カセットテープの無音部分のように、スぺアナの動かない状態が約 20 秒続くと、ディスプレイがデモンストレーション表示に切り換わります。

デモンストレーション表示



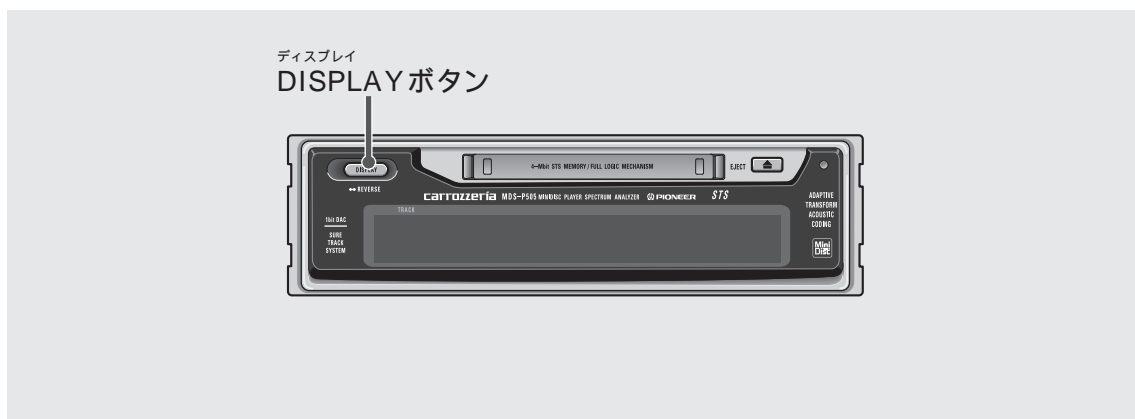
メモ

本機を操作したり、もう一度音楽などが始まると、デモンストレーション表示が解除され、前の表示に戻ります。

夜間のディスプレイの明るさを切り換える

ディマーの設定

夜間、周囲が暗くなったときにディスプレイがまぶしくならないように、車のライトをONにするとディマーが働き、ディスプレイが暗くなります。このディマーの設定は、OFFにすることができます。

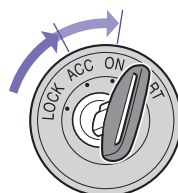


1 車のエンジンを切る



2 ディマーの設定をOFFにする

本機のDISPLAYボタンを押しながらイグニッションスイッチをACCまたはONにする




操作を行うごとにディマーの設定がON/OFFします。

メモ

初期設定はディマーON (車のライトをONにするとディスプレイが暗くなる) に設定されています。

旧モデルのメインユニットの機能について

「DEH-P990」など、旧モデルのメインユニット ( 6ページ) の各機能は、次のようになります。

サウンドスケープ

MD (エクスターナルユニット) 再生中は、ミュージック (曲中) モードおよびブランク (曲間) モードのサウンドスケープ再生を行うことができます。プログラム (1 by 1) モードには切り換わりません。

サウンドフィールドコントロール (SFC)


/イコライザー/トーン(バス/ミッド/トレブル)

サウンドフィールドコントロール (SFC)、イコライザー、トーン (バス/ミッド/トレブル) をソースごとに設定できるメインユニットの場合、MD (エクスターナルユニット) はAUX (外部機器) と同じ設定になります。

ソースレベルアジャスター (SLA)

MD (エクスターナルユニット) は1つのソースとして単独に設定することができます。

メモ

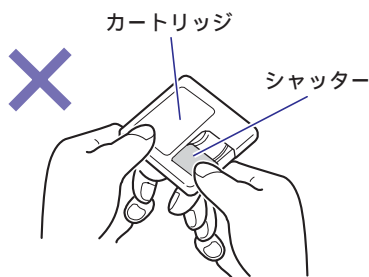
本機をMDソースとしてコントロールするメインユニット ( 6ページ) の上記の機能については、メインユニットの取扱説明書をご覧ください。

本機をエクスターナルユニット (EXT) としてコントロールするメインユニット「DEH-P500/KEH-P300」には、上記の機能はありません。

MDの正しい使いかた

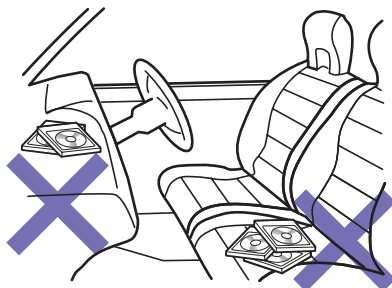
取り扱い上のご注意

MDのシャッターを手であけないでください。無理にあけるとこわれることがあります。



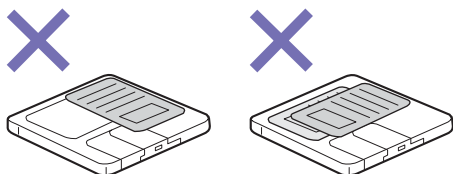
保管上のご注意

MDは、直射日光の当たるところや高温になるところには、保管しないでください。

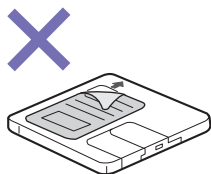


ラベルについて

MDに付属のラベルは、必ず指定の位置に貼ってください。指定以外の位置に貼ったり、2枚重ねて貼ったりすると、MDが取り出せなくなることがあります。



ラベルがめくれたり、浮いたりしたMDは使用しないでください。ラベルが引っかかり、MDが取り出せなくなります。このようなMDは新しいラベルに貼り換えてからお使いください。



お手入れについて

MDのカートリッジ表面が汚れたときは、柔らかいきれいな布で軽く拭いてください。MDにベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。



寒いときの結露について

寒いとき、ヒーターを入れた直後にMDの再生を始めると、本機内部の光学系レンズやMDにつゆが付いて、正常な再生ができないことがあります。

このようなときは、1時間ほど放置して自然につゆがとれるのをお待ちください。MDのカートリッジ表面に付いたつゆは柔らかい布で拭いてください。

こんなメッセージが表示されたら

MDを正常に再生できないときは、メインユニットのディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

メッセージ	メッセージが表示されるとき	処 置
「NO D-DATA」 「NO DNAME」	ディスク名が入力されていないMDを再生中にディスク名表示に切り換えたとき。	ディスク名表示以外の表示に切り換えてください。(P.18ページ)
「NO TR-DATA」 「NO TNAME」	曲名が入力されていない曲を再生中に曲名表示に切り換えたとき。	曲名表示以外の表示に切り換えてください。(P.18ページ)
「HEAT」 「MD HEAT」	本機の内部温度が高いとき。	内部温度が下がるまでお待ちください。
「ERROR 11、12、17、30」 「MD ERR 11、12、17、30」	MDが汚れているとき。 MDにキズやひびがあるとき。	他のMDと交換してください。
「ERROR 20、21」 「MD ERR 20、21」	振動などが原因で曲の情報を読み取れなかったとき MDに異常(損傷している、TOCが入っていないなど)があるとき。	MDを取り出し、もう一度入れ直してください。それでも同じメッセージが表示される場合は、他のMDと交換してください。
「ERROR 22、24」 「MD ERR 22、24」	MDに異常(損傷している、TOCが入っていないなど)があるとき。	他のMDと交換してください。
「ERROR 23」 「MD ERR 23」	音楽以外の情報が記録されたMDを使用したとき。	音楽が録音されたMDを使用してください。
「ERROR 01、11、12、17、30、A0」 「MD ERR 01、11、12、17、30、A0」	本機の電気系、機構系の故障が考えられるとき。	車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにするか、MD再生を一度やめて、もう一度MD再生にしてください。
「ERROR A1」 「MD ERR A1」	本機の電気系、機構系の故障が考えられるとき。	MD再生を一度やめて、リセットボタンを押し(P.33ページ)もう一度MD再生にしてください

故障かな？と思ったら

故障かな？
と思ったら

修理を依頼される前に、
次の表の内容をチェック
してください。

チェックしても
なおらないときは

本機をリセットしてくだ
さい。(👉 次ページ)

それでも
なおらないときは

「保証書とアフターサービス」
(👉 34ページ) をお読みにな
り、修理を依頼してください。

症 状	原 因	処 置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクタが 正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、もう 一度確認してください。(👉 取付説明書)
音が出ない。音が小さい。	メインユニットの音量を下げ ている。	メインユニットの音量を上げてください。
大きな雑音が出る。 再生がストップしてしまう。 MDが自動的に出てくる。	MDが極端に汚れている。	MDを交換してください。
	MDにくもりや水滴が付いて いる。	
	購入したばかり、または全曲 を消去した録音用MDを挿入 した。	MDを取り出し、正しい方向に挿入され ていない。 (👉 14ページ)
AVIC-XA1、KEH-P55、 KEH-P44またはKEH-P33と 組み合わせているときに、 ◀/▶ ボタンでトラック サーチができない。(早送り/ 早戻し動作になってしまう。)	本機のマイコンが誤動作して いる。	本機のリセットボタンを押してください。 (👉 次ページ)

本機のリセットについて

リセットボタンについて

リセットボタンは本機のマイコンをリセットするボタンです。次のようなときに、リセットボタンを押してください。

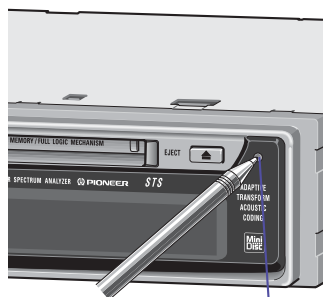
接続が終わった後。

本機が正しく動作しないとき。

ディスプレイが正しく表示されないとき。

リセットボタンの押しかた

ボールペンの先などで、リセットボタンを押します。



リセットボタン

保証書とアフターサービス

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアお客様相談センターまたは最寄りのパイオニアインフォメーションセンター(1・C)をご利用ください。所在地、電話番号はメインユニットに付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

仕様

共通部

使用電源	: DC 14.4 V (10.8 ~ 15.1 V 使用可能)
アース方式	: マイナスアース方式
最大消費電流	: 0.5 A
外形寸法	
(取付寸法)	: 178 (W) × 50 (H) × 150 (D) mm
(ノーズ寸法)	: 170 (W) × 46 (H) × 11 (D) mm
質量	: 1.0 kg (コード含まず)

付属品

コードユニット	: 1
取付ネジ類	: 1式
取扱説明書	: 1
取付説明書	: 1
安全上のご注意	: 1
保証書	: 1

MD プレーヤー部

形式	: ミニディスクデジタル オーディオシステム
使用ディスク	: ミニディスク
信号フォーマット	: サンプリング周波数: 44.1 kHz 量子化ビット数: 16 ビット直線
周波数特性	: 20 ~ 20,000 Hz (± 1 dB)
S/N	: 92 dB (1 kHz) (IHF-A ネットワーク)
ダイナミック レンジ	: 91 dB (1 kHz)
出力レベル	: 1 V (1 kHz, 0 dB)
チャンネル数	: 2チャンネル (ステレオ)

本機は、ドルビー・ラボラトリーズ・ライセンシングコーポレーションの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

メモ

上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。



エコマーク認定の再生紙を使用しています。

< 98B00F0A01 >

© パイオニア株式会社 1998

< CRA2500-A >

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

お客様ご相談窓口 (修理に関しては別添『ご相談窓口・修理窓口のご案内』参照)

お客様相談センター TEL 03-3491-8181

技術相談窓口	札幌	TEL 011-644-4779	大阪	TEL 06-353-3705
	仙台	TEL 022-375-4417	広島	TEL 082-228-2239
	名古屋	TEL 052-532-1141	福岡	TEL 092-441-8076